



わた なべ てる かず
渡 辺 晃 一



つし じん かい
津市民の会

夢を実現できる教育と環境づくりを問う

問 近年はグローバル化や情報化が急速に進展し、先を見通すことが非常に難しくなっており、子どもたちが将来社会に出て働くことを考えたとき、小・中学校の段階で仕事や社会との関わり方を学ぶことが必要であると考える。GIGAスクール構想とキャリア教育の関係も含め、津市における学校現場でのキャリア教育への取り組みについて問う。

子どもたちのキャリア発達を支援していく

答 義務教育期間は重要な基盤を形成する大切な時期であると考え、社会的・職業的自立に向け、一人一人のキャリア発達を支援するため、各学校で、キャリア教育全体計画に基づき取り組んでいる。具体的には、キャリア教育に関わる目標や感想、自己評価等を「キャリアパスポート」として記録化し、振り返ることで、主体的に学ぶ力を育み、自己実現につなげていく取り組みや、GIGAスクール構想における1人1台タブレット端末を活用し、ICTを使った問題解決への取り組みなど、子どもたちがさまざまな困難を乗り越え、しっかりと生き抜いていける力の育成に努めていく。

●その他の質疑・質問●

- 終わりのない防災対策は（浸水災害に対する本市の対応は）
- 豪雨や河川氾濫などが発生した場合の消防の救助体制は
- 雲出川中流部の整備計画はどうか、また、雲出川と波瀬川の合流部整備計画はどうか
- 一志地域の雨水管理総合計画の進捗や見通しはどうか、雲出川無堤防部の築堤時に排水樋門と同時に計画実施を など



▲講師を招いてのキャリア教育風景



たき ひろ まさ
滝 勝 弘



にほんきょうざんどう つしぎだん
日本共産党津市議団

コミュニティバスと公共交通の今後は

問 コミュニティバスは、4月の再編と7月のバス停見直しがあったが、よく知らないという人もいる。バス停がそこにあっても分からないのが理由の1つであり、認知されるよう整備を。公共交通と福祉の部局で今後を考える会議はもったか。また、県内でも、菰野町や四日市市等でデマンド交通などの動きがある。津市の今後の方向性を考える上でどう見ているか。

デマンド交通に限定せず、幅広く検討する

答 コミュニティバスの利用促進につなげるため、バス停の表示板に順次、丸看板を整備する計画を考えている。
令和3年5月に交通政策課、高齢福祉課、地域包括ケア推進室で協議の場を設け、各施策の確認および課題の共有をしており、地域公共交通としてのコミュニティバスと高齢者外出支援施策としての移動手段的確保等について検討していく。
津市の今後の方向性については、県内市町のやり方も参考にしつつ、デマンド交通に限定せず、もっと幅広く検討していくと、交通と福祉の両部局で研究・検討をしている。

●その他の質疑・質問●

- コロナ感染拡大防止のため、今から必要な対策を
- 延長、改善された県の無料PCR検査事業を、津市ホームページからもリンクして紹介を
- プラスチックの資源循環への対応で、先進自治体を目指せ
- 旧安西・雲林院幼稚園の跡地問題では、地元と対話の継続を
- 自衛隊への名簿提供の根拠法令は。住基法上の根拠は など



▲背面から見ると特に分かりにくいバス停